

2022年7月13日(水)

『ガバナー補佐訪問 卓話』

国際ロータリー第2630地区 ガバナー補佐 深貝 様

今期のRI会長テーマは「イマジン ローター」です。

「想像してください。世界に変化をもたらすことのできるロータリーの可能性を」

「ロータリーの力は、世界的ネットワークである。夢を実現するためにこのネットワークを通じ世界に変化をもたらそう」と言ってみえます。

高橋ガバナーは地区スローガンとして、「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」を掲げられました。その内容説明の中で、「真のロータリアンを育て、ロータリーを成長させたい」、「日本のロータリー文化を守り、育てよう」と言ってみえます。

「真のロータリアン」とは、職業上の高い倫理基準、道徳心を備えた職業人であります。この「真のロータリアン」を育てることによって同じ思いを共有できる仲間が増えます。ロータリー活動のレベルは上がり、さらには活動の範囲を大きく広げることになります。これがロータリーの成長です。

1920年に日本に最初のロータリークラブができてから100年程たちました。この間、理念と実践のほど良いバランスを取りながら、日本の土壌にロータリーを根付かせてきました。そこで高橋ガバナーは『今、RIは人道的奉仕活動つまり実践の方に重きを置き、同様に大切な理念が軽く扱われている傾向にある。これでは本来のロータリーの姿とは離れていくのではないか。今こそ「日本のロータリー文化」を守ろう』と言ってみえます。

このスローガンの下、川崎会長は四つの方針を掲げられました。

(1) 例会の充実

例会を、“学びの場” “感動の場” “意欲の場” となるよう運営していきたい。

(2) 会員増強

RI方針として常にいわれております会員増強は人集め、金集めの面が強いように感じます。ここでは、その主旨とは少し離れ、岐阜北ロータリークラブ独自のクラブ作りのために会長としての方針を述べられており、力強く感じました。

(3) 社会奉仕活動の実践

地域に根差した奉仕活動を行っていききたいと言ってみえます。青少年奉仕委員会事業の岐阜北ロータリーカップ バレーボール大会も30年以上の歴史のある事業に育ってきたと聞いております。

(4) 親睦交流の充実

志を共にする仲間を集い、力強く事業に取り組んでいきたい。四十有余年の重い歴史のあるクラブに相応しいお話を聞かせていただきました。今期一年間、いろいろ学ばせて戴くことが多いと思います。お世話になります。よろしくお願いいたします。

いくつかの地区活動方針が示されています。

1. RI戦略計画を推進
2. 会員増強・会員維持・クラブ拡大



3. RIロータリー賞への積極的なチャレンジ
4. 青少年育成の推進
5. ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解・推進
6. 米山記念奨学事業への参加と支援

これらの中で特に強調されている事項があります。

- (1) ポリオ根絶の街頭募金活動
コロナ感染状況を見ながら
- (2) 女性会員比率 8%達成を目指す。
RI目標：2023年度6月末 30%を掲げています。
- (3) マイロータリーの登録率 50%達成を目指す。
RIからの情報を正確なものを速く得られる
- (4) ロータリーカードの普及
オリコカード : 個人 0.3%がポリオ基金へ 法人 0.5%がポリオ基金へ
ダイナースカード : クラブ対応 0.3%がポリオ基金へ

クラブのご事情、方針等があるかと思いますが、ご協力よろしく願いいたします。